



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,902	7.3	72	24.3	90	81.4	59	83.4
29年3月期第1四半期	4,570	—	58	—	49	—	32	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 402百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △66百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	50.02	—
29年3月期第1四半期	27.28	—

(注) 当社は、平成28年3月期第1四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	14,517	6,655	45.8
29年3月期	14,008	6,306	45.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,655百万円 29年3月期 6,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,750	5.4	152	12.9	186	31.0	126	36.0	106.19
通期	19,554	3.9	324	9.1	381	△1.9	262	0.4	220.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	1,193,035株	29年3月期	1,193,035株
30年3月期1Q	39株	29年3月期	39株
30年3月期1Q	1,192,996株	29年3月期1Q	1,193,035株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は緩やかながらも改善が続く一方で、個人消費の伸び悩みが続き、企業収益の改善に足踏みが見られ、中国・新興国経済や欧米諸国の今後の動向などに不確実性が残り、景気の先行きに不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界におきましては、生産・販売活動が比較的堅調に推移し、また、当社グループとしても化学品事業におけるオレオケミカルを中心とした既存得意先への拡販・拡充に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は4,902,994千円（前年同四半期比7.3%増）となり、売上総利益は前年同四半期比2.3%増、営業利益は販売費及び一般管理費が前年同四半期比1.6%減となったことにより72,631千円（前年同四半期比24.3%増）となりました。また、経常利益は営業外収益23,976千円、営業外費用として6,063千円を計上したことにより90,544千円（前年同四半期比81.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は59,679千円（前年同四半期比83.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用40,879千円（前年同四半期比0.7%減）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、国内得意先の生産活動は概ね堅調に推移し、品種別では高級アルコール、脂肪酸の販売が好調に推移しました。

この結果、化学品事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は4,465,784千円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益は90,604千円（前年同四半期比26.6%増）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、当社オリジナル商品を新たに発売し、得意先へは新アイテムの提案をする等、新規取引先の開拓、拡販に努めました。ただ、個人消費の影響等もあり、販売は低調に推移しました。

この結果、日用品事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は205,292千円（前年同四半期比4.3%減）、セグメント利益は28,806千円（前年同四半期比14.3%減）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、工事案件数が増えてきたものの、当事業の取扱商品とかかわりの深い地盤改良工事、コンクリート補修補強工事及び環境改善工事の受注は依然低調に推移しました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は231,917千円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント損失は5,900千円（前年同四半期は5,576千円のセグメント損失）となりました。

[平成30年3月期 第1四半期 セグメント別連結業績]

(単位：千円，%)

セグメント区分	セグメント別売上高		セグメント損益（営業損益）	
	実績	百分比	実績	利益率
化学品事業	4,465,784	91.1	90,604	2.0
日用品事業	205,292	4.2	28,806	14.0
土木建設資材事業	231,917	4.7	△5,900	—
全社費用	—	—	△40,879	—
セグメント合計	4,902,994	100.0	72,631	1.5

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は14,517,988千円(前連結会計年度末比509,853千円の増加)、負債は7,862,664千円(前連結会計年度末比161,280千円の増加)、純資産は6,655,323千円(前連結会計年度末比348,573千円の増加)となりました。

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,517,988千円(前連結会計年度末比509,853千円の増加)となりました。主な要因は、商品が135,008千円、繰延税金資産が11,283千円それぞれ減少した一方で、保有有価証券の時価変動等により投資有価証券が493,344千円、現金及び預金が99,340千円、受取手形及び売掛金が80,359千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は7,862,664千円(前連結会計年度末比161,280千円の増加)となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が100,000千円減少した一方で、繰延税金負債が144,999千円、支払手形及び買掛金が99,645千円それぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,655,323千円(前連結会計年度末比348,573千円の増加)となりました。主な要因は、保有有価証券の時価変動により、その他有価証券評価差額金が343,648千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,345,092	1,444,433
受取手形及び売掛金	6,011,317	6,091,677
商品	490,112	355,104
貯蔵品	529	515
繰延税金資産	30,920	19,636
その他	67,250	40,413
貸倒引当金	△4,890	△5,011
流動資産合計	7,940,332	7,946,769
固定資産		
有形固定資産	220,503	217,342
無形固定資産	29,044	36,166
投資その他の資産		
投資有価証券	5,368,061	5,861,405
敷金及び保証金	319,477	320,626
その他	136,920	141,882
貸倒引当金	△6,205	△6,205
投資その他の資産合計	5,818,253	6,317,710
固定資産合計	6,067,801	6,571,219
資産合計	14,008,134	14,517,988

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,276,495	4,376,141
短期借入金	33,855	32,905
1年内返済予定の長期借入金	300,000	200,000
未払法人税等	22,977	24,912
賞与引当金	62,015	35,535
その他	60,982	95,165
流動負債合計	4,756,325	4,764,660
固定負債		
長期借入金	1,350,000	1,350,000
退職給付に係る負債	29,385	34,037
役員退職慰労引当金	148,137	151,410
繰延税金負債	1,392,336	1,537,336
その他	25,198	25,220
固定負債合計	2,945,058	3,098,004
負債合計	7,701,384	7,862,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	176,361	176,361
利益剰余金	2,603,487	2,609,481
自己株式	△89	△89
株主資本合計	3,027,928	3,033,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,187,462	3,531,111
為替換算調整勘定	91,359	90,289
その他の包括利益累計額合計	3,278,822	3,621,400
純資産合計	6,306,750	6,655,323
負債純資産合計	14,008,134	14,517,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,570,974	4,902,994
売上原価	4,182,147	4,505,304
売上総利益	388,827	397,690
販売費及び一般管理費	330,412	325,059
営業利益	58,414	72,631
営業外収益		
受取利息	1,721	1,642
受取配当金	12,321	15,758
不動産賃貸料	4,703	3,639
為替差益	—	2,327
その他	1,584	608
営業外収益合計	20,330	23,976
営業外費用		
支払利息	3,709	3,616
為替差損	21,767	—
不動産賃貸原価	1,664	1,997
その他	1,701	448
営業外費用合計	28,843	6,063
経常利益	49,901	90,544
税金等調整前四半期純利益	49,901	90,544
法人税、住民税及び事業税	20,647	23,001
法人税等調整額	△3,287	7,863
法人税等合計	17,359	30,865
四半期純利益	32,542	59,679
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,542	59,679

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	32,542	59,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,415	343,648
為替換算調整勘定	△22,840	△1,070
その他の包括利益合計	△99,256	342,578
四半期包括利益	△66,713	402,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,713	402,257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,118,365	214,424	238,184	4,570,974	—	4,570,974
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,733	—	2	1,736	△1,736	—
計	4,120,099	214,424	238,186	4,572,710	△1,736	4,570,974
セグメント利益又は損失 (△)	71,545	33,615	△5,576	99,584	△41,170	58,414

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△41,170千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△41,170千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,465,784	205,292	231,917	4,902,994	—	4,902,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,163	—	—	2,163	△2,163	—
計	4,467,948	205,292	231,917	4,905,158	△2,163	4,902,994
セグメント利益又は損失 (△)	90,604	28,806	△5,900	113,510	△40,879	72,631

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△40,879千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△40,879千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。